

九州西部地区の一端を担う物流拠点に

株式会社 日立物流進出協定締結式

医薬品や生活用品、化粧品等の仕分けおよび配送業務を担う「株式会社日立物流」と多久市との進出協定締結式を、5月29日、市役所で行いました。



▲進出協定締結式の様子

今回の進出先は、東多久町の旧シオタニ跡地で、既存建物の一角に配送センターを設け、6月7日に稼働を開始。県内外で店舗展開している流通小売業の企業を相手先として、1日あたり4トントラック換算で40台程度の取扱量で稼働しています。

締結式では、横尾市長が「九州西部方面の物流の一端を担う拠点として多久を選定いただき大変心強く思います。物流ノウハウを長年蓄積されている御社の

強みを發揮いただけることを期待します」とあいさつ。

株式会社日立物流九州地区営業本部長の宮下浩之さんは「システム物流を中心に展開しており、佐賀県内では7か所目となります。佐賀・長崎地区の配送拠点として、地域活性化の一翼になれれば」と今後の抱負を語りました。



▲協定書にサインする横尾市長（写真左）と宮下本部長（写真右）

「よかった」「わかった」「がんばった」感動体験や将来の夢を発表！

平成26年度青少年育成市民大会・第33回多久市少年の主張発表会

多久市青少年育成市民大会・多久市少年の主張発表会（多久市青少年育成市民会議・多久市ライオンズクラブ主催）が6月21日に中央公民館大ホールで開催されました。

青少年育成市民大会では、1団体と9人に対し、青少年育成への長年の功績を称え、表彰が行われ、その後主催者による大会宣言（案）が提案されると満場一致により採択されました。表彰者については、次のとおりです。

団体 西溪小学校 腰鼓隊

熊谷勝彦（東多久町）

合六芳尚（東多久町）

石丸徳司（北多久町）

上瀧賢治（東多久町）

吉井 忠（北多久町）

伊川照明（南多久町）

小池 榮（北多久町）

中島重信（多久町）

※敬称略

多久市少年の主張発表会では、小学生10人、中学生6人が、将来の夢や命の大切さ、環境問題などを凛とした表情で発表されました。

審査員講評では、中川正博教育長が「夢・命・自然など、前向きな強い姿勢を感じました。今日の思いをしっかりと持ち続けて、これからの人生をしっかりと歩んでください」と激励を兼ねて講評しました。

発表会の優秀賞受賞者は次のとおりです。

〈優秀賞〉

中尾圭太（中央校6年）

中山雄稀（東部校6年）

草場 寮（中央校9年）

森田有紀（中央校9年）

※敬称略



▲発表を終えてみんな記念撮影の様子

Message for citizen

さらに地方の発展のために

市長 横尾俊彦

6月4日第84回全国市長会議が開かれました。総会ではG7サミット出席中の安倍首相からメッセージを頂きました。「地方の活性化は安倍内閣の最重要テーマ。国民が安心して元氣な地方を創っていく取り組みが肝心であり、新たな仕組みの制度法案も必要になる。人口減少社会対応のために第31次地方制度調査会を始めた。やればできる実感できる、地方に根差した施策を支援します」という旨の力強い祝辞です。まさに日本の地方の元氣回復・振興こそ最重要課題です。

今回の総会で、私は副会長に選任されました。地方の現状や地方の生の声を国のあらゆる政策面に届ける役割を担います。このような重要な役職就任も、ひとえに皆様の激励の賜物と感謝いたします。多久市勢発展のためはもとより、多久を起点に、地方の進展に尽力したいと思っています。

これからの重要テーマとして、マイナンバー施策による未来創造の改革、未来を担う子どもたちの教育向上、長寿健康社会の福祉、人口対策と地域経済振興などありますが、力を尽くします。

総会の後には、早速、首相官邸に菅義偉内閣官房長官を訪ね、政府への政策提案を行いました。

さらには教育再生首長会議、番号創国推進協議会など、新たな首長連携も推進中です。副会長の職責の効果を多久にもたらすべく努力します。

そして暦は7月です。この数年に大雨の月で、豪雨、熱中症が気になる季節です。健康や気象情報に留意され、健やかに過ごして下さい。

市長コラム

温故創新